

# ふくおかの経済

平成29年5月号

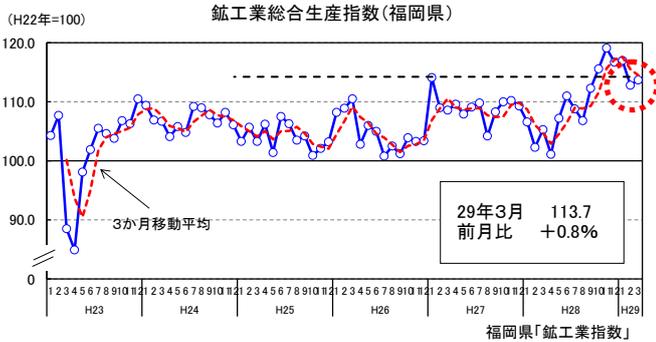


福岡県の景気は、着実に回復している。

## 生産

生産は高水準で推移している

3月の生産指数は、電子部品・デバイス工業などがけん引し、前月比で2か月ぶりの上昇となり、高い水準が続いています。

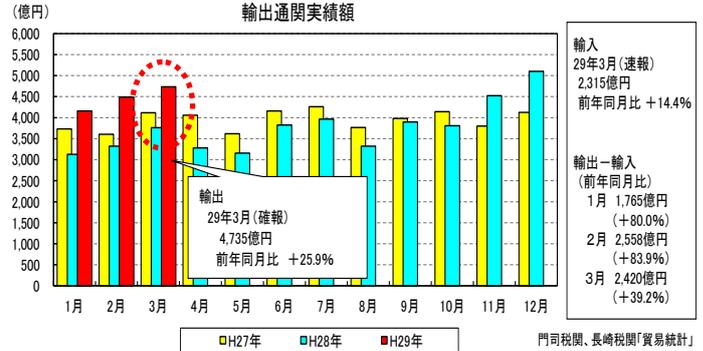


鉱工業生産指数は、平成22年の生産額を100として、その変化を表しています。

## 貿易

輸出は増加、輸入は持ち直している

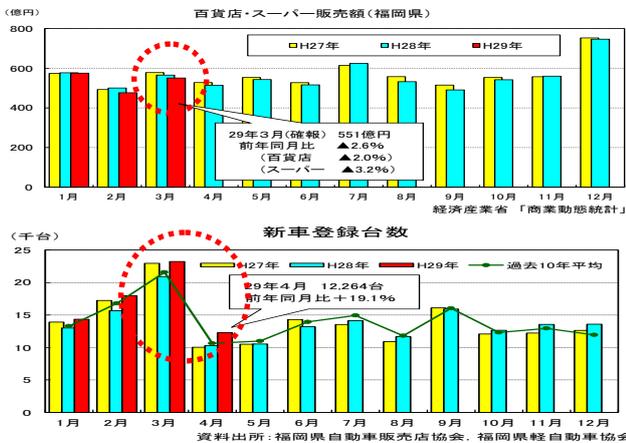
3月の輸出は、米国向けの自動車や韓国向けの一般機械などが増加したことから、5か月連続で前年同月を上回りました。



## 消費

緩やかな回復基調にある

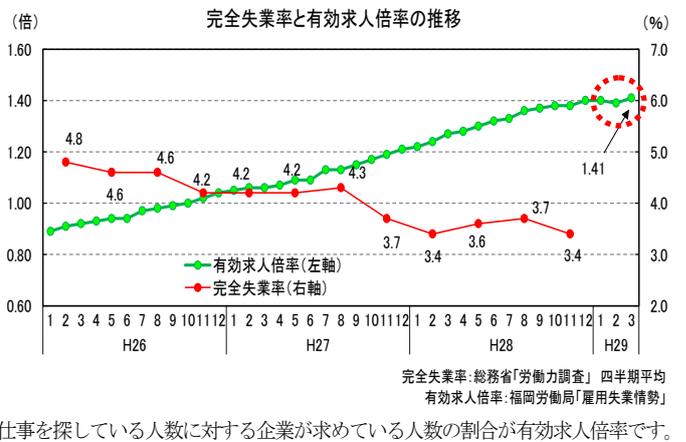
3月の百貨店・スーパー販売額は、例年より気温が低く春物衣料品の販売が不調だったことなどから、前年同月を下回りました。一方で、新車登録台数は、前年を上回る状況が続いています。



## 雇用

着実に改善が進んでいる

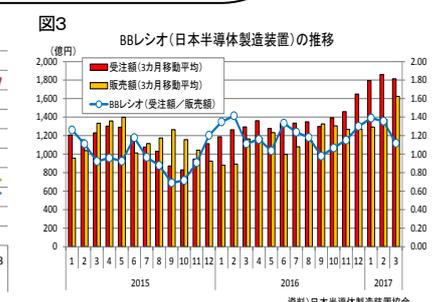
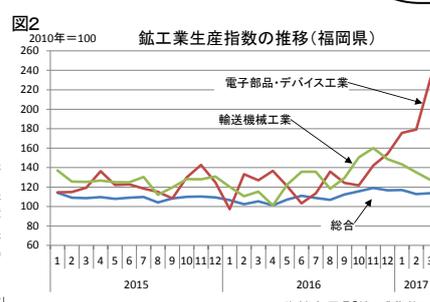
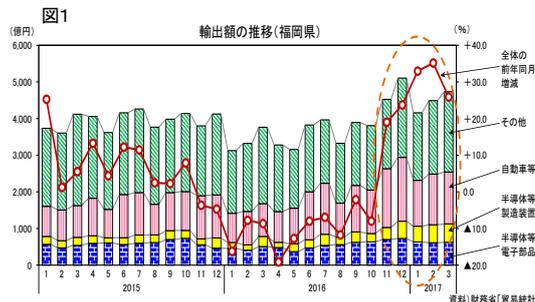
3月の有効求人倍率は1.41倍で、昭和38年の統計開始以来、過去最高を更新しました。



## 今月のトピック 絶好調のスマホ・半導体需要が景気をけん引

- 福岡県の輸出と生産は、昨夏以降好調で、リーマンショック前の水準を回復しています。
- 好調な海外販売や新型車効果がある自動車、輸出が好調なスマートフォン関連部品や製造装置といった品目の動きが目立っています(図1、図2)。
- 全国的にも海外向けメモリなどの半導体や製造装置が好調で、景気をけん引していますが、その旺盛な需要の様子が図3でもわかります。

スマートフォンのディスプレイ向けの有機ELや、パソコン・サーバのハードディスクに代わる記憶装置であるSSD(ソリッドステートドライブ)に関するものが好調なんじゃよ!



(トピック担当: 分析1班 山本)